

政策シート 政策名 05 適切な伐採と流通の活性化

予算費目名 01 林業振興費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 01 産業経済

理想の姿 (30年後) ◆創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

政策の柱 (10年後) ◆輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
◆来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
◆多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

基本政策 02 作業から経営に！ 変革を遂げる農林水産業

(2) 政策の概要(当年度(2022年度)実施内容)

天竜美林の多面的機能の維持・拡大と林業・木材産業の成長産業化に向け、FSC森林認証制度に基づく持続可能かつ適切な森林管理と、天竜材を活用した新事業創出や天竜材の流通量及び販路を拡大することで、SDGsや脱炭素社会の実現に資する。

(3) 関連するSDGsのゴール

④教育	⑥水・衛生	⑧成長・雇用	⑨イノベーション	⑪都市	⑫生産・消費	⑬気候変動	⑮陸上資源
-----	-------	--------	----------	-----	--------	-------	-------

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	1,090,564	1,029,709	1,285,341	966,683		
決算	943,403	965,139	1,016,012			
人件費(報酬等)(A)		1,611	1,651			
人件費(人工分)(B)	55,020	56,080	56,820	54,240		
年間経費(予算又は決算+A+B)	998,423	1,022,830	1,074,483	1,020,923		

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
年間木材生産量	m ³	目標	143,200	150,800	158,400	166,000	173,600	181,200
		実績	141,085	109,624	121,673			
森林経営計画認定面積(ha)	ha	目標	18,400	19,600	20,800	22,000	23,200	24,400
		実績	21,083	18,101	18,568			
		目標						
		実績						

4 前年度(2021年度)政策評価

(1) 前年度(2021年度)実施内容

・林業・木材産業の成長産業化に向け、低コスト林業の推進による作業道の開設や高性能林業機械の導入支援等を行った。
・住宅、非住宅建築物への天竜材(FSC認証材)使用に対する支援を充実させるとともに、天竜材(FSC認証材)を使用しながら新型コロナウイルス感染拡大を防止するための助成制度を継続し、天竜材(FSC認証材)の需要拡大に努めた。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り

・森林環境譲与税を活用し、新規就業者の技術力向上や担い手の確保を目的とした活動を支援する制度を新設した。
・林業・木材産業の成長産業化に向け、林道の維持補修、低コスト林業の推進による作業道の開設や高性能林業機械の導入支援等を行った。
・天竜材(FSC認証材)の流通量や利用拡大のため、新型コロナウイルス感染拡大を防止するための補助制度を設け、木材の地産地消を推進した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	林道等整備事業	—	—	—		623,686	603,026	2.9	0.1		
2	低コスト林業推進事業	○	—	○		76,792	73,272	0.4	0.2		
3	木材需要拡大事業	○	○	○		283,901	259,441	3.1	0.3		0.6
4	スマート林業推進事業	—	—	—		9,765	8,365	0.2			
5	林業成長産業化推進事業	○	—	○		9,759	8,359	0.2			
6	森林環境基金積立金	—	—	—		3,703	3,003	0.1			
7	森林管理デジタル運営経費					1,240	540	0.1			
8	森林管理運営経費					12,077	10,677	0.2			
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						1,020,923	966,683	7.2	0.6		0.6

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 林道等整備事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

林業振興や森林の多面的機能の持続的発揮、山村地域の振興などを目的に、林内道路網の整備と維持管理を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2006	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

				⑥水・衛生		⑨イノベーション
		⑬気候変動	⑮陸上資源			
事業とゴールの関連性	林道等の整備を進めることで素材生産量の拡大につながるとともに、生産するために必要な林業従事者の雇用の創出につながる。					

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	625,392	563,693	504,671	603,026		
	決算	568,632	565,888	492,044			
	国・県支出	137,865	97,187	120,904	124,988		
	市債	192,800	169,600	210,000	224,200		
	その他	24,878	94,419	38,259	59,560		
	一般財源	213,089	204,682	122,881	194,278		
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		20,300	21,000	21,000	20,660		
人工	正規	2.9	3.0	3.0	2.9		
	再任用(31h)				0.1		
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		588,932	586,888	513,044	623,686		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
林内道路密度(m/ha) ※(公道延長+林道延長)÷民有林面積			目標	24.4	24.6	25.8	25	25.2	25.4
			実績	23.3	23.3	23.3			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

林内道路網を充実するため、国庫補助事業等を活用し以下の事業を行った。

- ① 公共林道整備事業(国庫補助)／国庫補助事業により林道の開設及び改良等
【決算:80,300千円】
- ② 県営林道整備促進支援事業(負担金)／県が施工する林道の整備に対し、静岡県建設事業市町村負担金条例により負担金を支出する。【決算:56,846千円】
- ③ 県単独林道整備事業／県単独補助により林道の改良等
【決算:215,612千円(うち前年度繰越:21,682千円)】
- ④ 市単独林道整備事業／国庫補助及び県単独補助の対象にならない林道の改良等
【決算:25,939千円】
- ⑤ 林道維持補修事業／市内的林道(204路線 約700km)を維持管理
【決算:160,780千円(うち前年度繰越:31,526千円)】
- ⑥ 林業専用道整備事業／国庫補助等を活用し、林道規定2級に相当する林業専用道の整備
【決算:51,168千円(うち前年度繰越:13,900千円)】



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

(1) 事業の成果と課題	実績
① 公共林道整備事業(国庫補助)／	林道開設 2路線
② 県営林道整備促進支援事業(負担金)／	林道開設 3路線、改良・舗装 1路線
③ 県単独林道整備事業／	改良 19路線、舗装 1路線
④ 市単独林道整備事業／	舗装 2路線他
⑤ 林道維持補修事業／	林道維持補修委託 1路線 工事 1路線 小規模修繕等
⑥ 林業専用道整備事業／	開設 1路線

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・2020年度は、降雨による災害の復旧が発生し、通常工事の進捗に影響を及ぼした。また地権者との交渉に難航したこともあり翌年度繰越になる路線が発生した。
- ・林道維持補修に係る大規模修繕必須箇所において調査及び工事を行った。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・林道・林業専用道の整備については、国及び県補助金を活用し計画的に事業を進めていく。
- ・市単独事業については、計画的に事業を進めていく。
- ・森林整備や運搬コスト削減に資する林道整備は森林環境譲与税を活用する。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

林内道路網を充実するため、国庫補助等を活用し以下の事業を行う。

- ① 公共林道整備事業(国庫補助)／国庫補助により林道の開設及び改良等を行う。
- ② 県営林道整備促進支援事業(負担金)／県が施工する林道の整備等に対し、静岡県建設事業市町村負担金条例により負担金を支出する。
- ③ 県単独林道整備事業／県単独補助により林道の改良等を行う。
- ④ 市単独林道整備事業／国庫補助及び県単独補助の対象にならない林道の改良等を行う。
- ⑤ 林道維持補修事業／市内的林道(204路線 約700km)を維持管理する。
- ⑥ 林業専用道整備事業／国庫補助等を活用し、林道規程2級に相当する林業専用道を整備する。

事業シート (事業名) 02 低コスト林業推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

効率的な林業経営の推進を目的に、森林施業の集約化に不可欠な林内路網(作業道、作業路、索道)整備や素材生産コストの低減に向けた林業機械導入等を支援する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2006	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	○	(施策)	I-1(1)エ						
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

		⑬気候変動	⑮陸上資源						
事業とゴールの関連性		高性能林業機械導入や作業道開設などによる効率的な持続可能な林業経営を推進することで、気候変動や自然災害に対する強靱性を高める。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	88,445	124,470	475,908	73,272		
	決算	67,963	91,891	199,245			
	国・県支出	18,146	46,040	130,899	3,272		
	市債						
	その他	16,163	45,851	68,346	70,000		
	一般財源 一般会計繰入金	33,654					
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		6,000	4,600	3,540	3,520		
人工	正規	0.6	0.4	0.3	0.4		
	再任用(31h)	0.5	0.5	0.4	0.2		
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		73,963	96,491	202,785	76,792		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
年間木材生産量(m³)	I-1(1) エ		目標	143,200	150,800	158,400	166,000	173,600	181,200
			実績	141,083	109,624	121,673			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- ①林業機械・施設整備事業(補助金)【決算:130,899千円(うち前年度繰越:60,899千円)】
「林業・木材産業構造対策事業」の採択を受けた林業関係団体が行う木材加工・流通施設整備等を支援
- ②低コスト林業推進助成事業(補助金)
林道規程に該当しない森林所有者が行う作業道、作業路及び索道の開設を支援



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

①林業機械・施設整備事業(補助金)

原木自動選別機 1台 60,899千円
木材製材施設装置 1式 70,000千円

②低コスト林業推進助成事業(補助金)

(作業道開設)	16路線	施工延長L=12,279m	補助金額	42,913千円
(作業道補修)	25路線	施工延長L=10,879m	補助金額	14,107千円
(作業路開設)	7路線	施工延長L=3,457m	補助金額	7,255千円
(索道設置撤去)	4申請(33箇所)		補助金額	4,071千円

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・林業機械等整備事業は、国の動向等を見極めつつ事業を執行した。
- ・低コスト林業推進事業(補助金)では、コロナウイルス感染症の市場動向によりインフラ投資が抑制され申請数
が低調に終わった。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・低コスト林業推進事業(補助金)を森林環境譲与税の充当事業に位置付け、路網整備を通じた作業の低コスト化
を図っていく。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

①林業機械・施設整備事業(補助金)

「林業・木材産業構造対策事業費補助金」や「中山間地域林業整備事業費補助金」の採択を受けた林業関係団
体が行う高性能林業機械の導入及び木材加工・流通施設整備等を支援する。

②低コスト林業推進助成事業(補助金)

林道規定に該当しない森林所有者が行う作業道、作業路及び索道の開設を支援する。

事業シート (事業名) 03 木材需要拡大事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

林業・木材産業の成長産業化を目的に天竜材(FSC認証材)の「地産地消」、「地産外商」を推進する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2006	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	○	(施策)	I-1(1)エ	I-1(1)オ	I-1(3)ウ				
重点戦略	○	(戦略項目)	51	54					

(4) 関連するSDGsのゴール

	④教育	⑥水・衛生	⑧成長・雇用	⑨イノベーション
⑪都市				
⑫生産・消費				
⑬気候変動				
⑮陸上資源				
事業とゴールの関連性	適切かつ効率的な木材利用を進めるとともに、安心で質の高い教育・学習環境を提供することで、安全かつ強靱で持続可能な都市を実現する。			

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	253,206	251,572	220,016	259,441		
	決算	207,217	220,378	276,232			
	国・県支出	4,500	5,270	5,558	14,590		
	市債						
	その他	26,628	36,463	152,896	162,573		
	一般財源	176,089	178,645	117,778	82,278		
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	24,520	25,920	26,740	24,460		
人工	正規	3.4	3.6	3.7	3.1		
	再任用(31h)	0.2	0.2		0.3		
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.3	0.6		
年間経費(予算又は決算+A+B)		231,737	246,298	302,972	283,901		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
森林経営計画認定面積(ha)			目標	18,400	19,600	20,800	22,000	23,200	24,400
			実績	21,083	18,101	18,568			
地域材利用建築件数(棟) ※天竜材の家百年住居の助成事業助成棟数			目標	250	250	250	250	250	250
			実績	146	131	160			
木材・木製品製造業 製造品出荷額(億円/年)	I-1(1)オ		目標	450	300	300	350	400	450
			実績	98	2022.8頃	2023.8頃			
FSC認証材生産量(m³/年)	51		目標	103,000	111,000	119,000	127,000	135,000	143,000
			実績	67,048	59,550	2022.8頃			
天竜材の利用拡大に向けた連携数(都市・団体)	I-1(1)オ	54	目標	4	4	5	5	5	6
			実績	5	5	5			

2022年度										
(管理番号)										
分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)		
01	02	05	01	001728000	03	林業振興課	小林 和重	2022.7.1		
森林組合作業班員数(人)					目標	200	200	200	200	200
					実績	173	165	2023.4頃		
新規就業者支援者数(2019～累計)(人)		I-1(3)	ウ	目標		66	86	106	126	146
					実績	66	89	114		
					目標					
					実績					

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

[2019-2022重点戦略項目 No.51・No.54]

- ①天竜材の家百年住居の助成事業／天竜材(FSC認証材)の利用拡大を目的に、市内で天竜材を一定量以上使用した建築主に対し、建築費の一部を助成する。
- ②天竜材ぬくもり空間創出事業／天竜材(FSC認証材)の利用拡大を目的に、非住宅建築物をFSC認証材を利用して木質化した施主に対し、材料費の一部を助成する。
- ③オリンピック・パラリンピックレガシー創造事業／東京2020大会関連施設で使用した天竜材のPRを実施する。
- ④新しい生活様式支援天竜材活用事業／天竜材(FSC認証材)を使用した新型コロナウイルス感染症対策に対する取組を助成する。
- ⑤森林整備・林業振興事業／森林組合や森林所有者が行う森林整備(造林、保育、間伐、搬出等)を支援する。
- ⑥天竜材流通・販路拡大事業／天竜材の流通量及び販路拡大に取組む事業を支援する。
- ⑦森林活用等都市間連携事業／首都圏等の大都市との連携を促進する。
- ⑧森林環境教育推進事業／森林・林業に対する理解増進、森林環境意識を醸成するため森林環境教育を実施する。
- ⑨FSC認証材利用拡大推進事業／FSC認証材の普及啓発のための大手企業との連携、PRグッズの作成等の各種事業を実施。
- ⑩(新規)天竜材人材育成・担い手確保事業／林業従事者の安全対策や技術力向上、担い手確保・育成活動に助成する。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ①天竜材の家百年住居の助成事業／支援件数:160棟(FSC追加助成=115棟)
- ②天竜材ぬくもり空間創出事業／支援件数:13件
- ③オリンピック・パラリンピックレガシー創造事業／天竜材フォーラム開催(2021.12月)、選手村ビレッジプラザ使用木材の後利用方法決定
- ④新しい生活様式支援天竜材活用事業／支援件数:49件(2020年繰越分:34件、2022年分:15件)
- ⑤森林整備・林業振興事業
 - ・森林環境保全直接支援、美しい森林づくり基盤整備／間伐等、森林整備に要する経費を支援
 - ・合板・製材生産性強化対策事業(TPP対策)／間伐に要する経費を支援
 - ・林業・木材産業成長産業化促進対策事業、浜松型林齢平準化促進事業／主伐に関する植林・搬出等に関する経費を支援
- ⑥天竜材流通・販路拡大事業／海外に向けて木材輸出の支援
- ⑦森林活用等都市間連携事業／首都圏の都市や学校との連携事業を実施
- ⑧森林環境教育推進事業／森林環境教育プログラムの受入れ体制の運営やPRを実施
- ⑨FSC認証材利用拡大推進事業／ラッピングバス・ノベルティ製作に普及啓発等
- ⑩(新規)天竜材人材育成・担い手確保事業／支援件数:技術力向上4件、担い手確保・育成17件 等

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・森林環境譲与税を活用し、森林整備を促進するための主伐に対する助成制度や都市間連携・森林環境教育に関する事業を推進するとともに新たに林業従事者の技術力向上や担い手確保・育成活動への助成を実施した。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・支援件数等の目標に達していない事業費を見直すとともに、より活用しやすい制度とするよう見直しを図る。

(管理番号)									
2022年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	02	05	01	001728000	03	林業振興課	小林 和重	2022.7.1

7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)



【2019-2022重点戦略項目 No.51・No.54】

- ①天竜材の家百年住居助成事業／天竜材(FSC認証材)の利用拡大を目的に、市内で天竜材(FSC認証材)を一定量以上使用した建築主に対し、建築費の一部を助成する。
- ②天竜材ぬくもり空間創出事業／天竜材(FSC認証材)の利用拡大を目的に、非住宅建築物をFSC認証材を利用して木質化した施主に対し、材料費の一部を助成する。
- ③新しい生活様式支援天竜材活用事業／天竜材(FSC認証材)を使用した新型コロナウイルス感染症対策に対する取組を助成する。
- ④森林整備・林業振興事業／林業事業者や森林所有者が行う森林整備(造林、保育、間伐、主伐、搬出等)を支援する。
- ⑤森林活用等都市間連携事業／首都圏等の大都市との連携を促進する。
- ⑥森林環境教育推進事業／森林・林業に対する理解増進、森林環境意識を醸成するため森林環境教育を実施する。
- ⑦FSC認証材利用拡大推進事業／FSC認証材の普及のための大手企業との連携、PRグッズの作成等の各種事業を実施。
- ⑧天竜材人材育成・担い手確保事業／技術力向上や担い手確保等を目的とした支援を実施。

事業シート (事業名) 04 スマート林業推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

林業、林道に関する情報のデジタル化により、情報管理の高度化並びに省力化及び生産性を向上を促進し、木材生産の増加を目指す。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2021	-	一般会計	自治事務(その他)	林道規程

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

				⑥水・衛生				
		⑬気候変動		⑮陸上資源				
事業とゴールの関連性	林道等の整備により木材生産が拡大し、森林環境の維持・向上に貢献できる。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算			10,000	8,365		
	決算			9,086			
	国・県支出						
	市債						
	その他			9,086	8,365		
	一般財源 一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)				1,060	1,400		
人工	正規			0.1	0.2		
	再任用(31h)			0.1			
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)				10,146	9,765		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
林道情報のデジタル化(km)			目標	-	-	300.0	300.0	300.0	
			実績	-	-	173.0			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- ・林道台帳のデジタル化(204路線・710km)
- ・マッピングGIS(三次元点群)データの取得(23路線・173km)



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・林道台帳のデジタル化は、全路線(204路線・710km)完了。
- ・マッピングGIS(三次元点群)データの取得は、計画数量以上を完了(23路線・173km)

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・デジタルファースト宣言(市)によるデジタル化の促進



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・林道台帳情報のデジタル化が実現。林道路線情報の主要路線の一部がGIS化されるため、今後の林道災害時や通常の維持管理時における有効な利活用が見込まれる。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・林道情報のデジタル化を進めることで、災害の発生状況を早期に把握・対応するとともに、通行止め等の交通情報を住民に対して迅速に周知する。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- ・マッピングGIS(三次元点群)データの取得 8,365千円(32路線180km)

事業シート (事業名) 05 林業成長産業化推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

地域の「素材生産」、「製材・加工」、「木材流通」のキープレイヤーが一体となり、素材生産量の拡大や木材の安定供給体制の確立、天竜材製品の生産・販売量の拡大、新規雇用を創出し、林業・木材産業の成長産業化につなげる。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2017	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	○	(施策)	I-1(1)エ						
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

								⑧成長・雇用	⑨イノベーション
事業とゴールの関連性	素材生産量の拡大や木材の安定供給体制の確立、天竜材製品の生産・販売量の拡大、新規雇用を創出し、林業・木材産業の成長産業化につなげることは、持続可能な経済成長と産業化の促進及びイノベーションの推進を図るものである。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	77,289	40,442	61,437	8,359		
	決算	56,246	40,136	29,972			
	国・県支出	56,166	40,085	29,948			
	市債						
	その他				8,263		
	一般財源	80	51	24	96		
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	2,100	2,460	2,380	1,400		
人工	正規	0.3	0.3	0.3	0.2		
	再任用(31h)		0.1				
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.1			
年間経費(予算又は決算+A+B)		58,346	42,596	32,352	9,759		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
年間木材生産量(m³)	I-1(1) エ		目標	143,200	150,800	158,400	166,000	173,600	181,200
			実績	141,085	109,624	121,673			
FSC認証材生産量(m³)		51	目標	103,000	111,000	119,000	127,000	135,000	143,000
			実績	67,048	59,550	2022.8頃			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)									
2022年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	02	05	01	001728000	05	林業振興課	小林 和重	2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

構想5か年の5年目となる2021年度は、参画事業者が行う2件のソフト事業、4件のハード事業を支援する。

○ソフト事業

- ・天竜材のふるさと紹介絵本制作(永田木材㈱)、木製移動型店舗の開発(㈱鈴三材木店)

○ハード事業

- ・プロフィールサンダー導入、ランニングソー導入(鹿島木材㈱)、NCルーター導入(㈱マルホン)、防腐注入処理機整備(天竜森林組合)



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ソフト事業 ・天竜材のふるさと紹介絵本制作(永田木材㈱) 2,000千円

- ・木製移動型店舗の開発(㈱鈴三材木店) 2,500千円

- ハード事業 ・プロフィールサンダー導入 7,500千円、ランニングソー導入 6,150千円(鹿島木材㈱)

- ・NCルーター導入 11,798千円(㈱マルホン)

- ・防腐注入処理機整備 27,250千円(天竜森林組合) / 新型コロナの影響等により2022年度に繰越

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・構想に掲げた2021年度分のソフト2件、ハード整備4件の事業を支援した。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・林野庁から承認を受けた浜松地域林業成長産業化地域構想(計画期間:2017~2021年度/5年間)は終了し、次期構想を策定。

- ・2022年度は、前構想の検証を行うとともに、更なる林業の成長産業化に向けた取組を支援する。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

本市の林業成長産業化に繋がる次の取組を支援する。

- ・林業情報技術増強事業(引佐町森林組合)
- ・製材管理クラウド化推進事業(㈱フジイチ)
- ・新商品開発及び販売促進活動(㈱マルホン)
- ・木製什器・遊具の開発(㈱鈴三材木店)
- ・天竜材サプライチェーン構築事業(㈱アイジーコンサルティング)

事業シート (事業名) 06 森林環境基金積立金

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

森林、河川等の自然環境を守り育て、森林の公益的機能を維持増進し、併せて林業の振興を図るため、2006(平成18)年4月に創設した「浜松市森林環境基金」への積立を適正に行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2006	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市森林環境基金に関する条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

	①都市	②生産・消費	③気候変動	④教育	⑤陸上資源	⑥水・衛生
事業とゴールの関連性						
	基金は、森林、河川等の自然環境を守り育てるための事業、森林の有する公益的機能を維持増進するための事業及び林業の振興を図るための事業に要する経費に充てるため、さまざまな持続可能な開発目標とリンクしている。					

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	34,896	34,315	3,003	3,003		
	決算	34,646	34,314	1,814			
	国・県支出						
	市債						
	その他	34,646	34,314	1,814	3,003		
	一般財源 一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		700	700	700	700		
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		35,346	35,014	2,514	3,703		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

○基金への積立

- ・寄附金 7件及び寄付金箱 2,407千円
- ・利子 42千円
- ・森林環境譲与税(2022.4頃確定)

○基金の効果的な活用

- ・7事業 39,880千円



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・森林環境基金への寄付金及び基金の運用収入、森林環境譲与税を基金に積み立てることで、森林環境基金活用事業の財源として活用した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・森林環境譲与税の一部(予算残額/入札差金等)を積立て、後年度の事業に充当する。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・森林環境譲与税の積立については、使用目的を明確にして森林環境基金へ積立てを行う(使用目的/公共建築物の木造・木質化等)。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

○基金への積立

- ・市民や企業からの寄附金を基金に積立てる。
- ・基金の運用益を基金に積立てる。
- ・森林環境譲与税を基金に積み立てる。

○基金の効果的な活用

- ・基金事業所管課と連携を図り、基金の効果的な活用を図る。

(管理番号)

事業シート (事業名) 07 森林管理デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

--

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。								
総合戦略	(施策)								
重点戦略	(戦略項目)								

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの関連性									
------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算			541	540	0	0
	決算	0	0	529			
	国・県支出						
	市債						
	その他			529	540		
	一般財源						
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	0	0	700	700	0	0
人工	正規			0.1	0.1		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		0	0	1,229	1,240	0	0

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

--



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

--



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

--



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

--

事業シート (事業名) 08 森林管理運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

--

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。								
総合戦略	(施策)								
重点戦略	(戦略項目)								

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	11,336	15,217	9,765	10,677		
	決算	8,699	12,532	7,090			
	国・県支出						
	市債						
	その他	171	5,611	78	225		
	一般財源	8,528	6,921	7,012	10,452		
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)		1,611	1,651			
	人件費(人工分)(B)	1,400	1,400	700	1,400		
人工	正規	0.2	0.2	0.1	0.2		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		10,099	15,543	9,441	12,077		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題
指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)
大項目 小項目 / 事業費 人工



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

※人件費(報酬等)は、会計年度任用職員報酬を計上

政策シート 政策名 05 適切な伐採と流通の活性化

予算費目名 02 林業施設災害復旧費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 01 産業経済

理想の姿 (30年後)	◆創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。
------------------------	----------------------------------

政策の柱 (10年後)	◆輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。 ◆来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。 ◆多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。
------------------------	---

基本政策 02 作業から経営に！ 変革を遂げる農林水産業

(2) 政策の概要(当年度(2022年度)実施内容)

暴風雨、洪水、地震等の異常な自然現象によって損害を受けた林業用施設(林道及び付帯施設)を復旧する。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生	⑨イノベーション	⑬気候変動	⑮陸上資源				
-------	----------	-------	-------	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	260,000	820,000	310,000	650,000		
決算	312,483	305,247	386,719			
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	2,100	2,100	2,100	2,800		
年間経費(予算又は決算+A+B)	314,583	307,347	388,819	652,800		

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
災害復旧工事の着工率	%	目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100	99	100			
		目標						
		実績						

4 前年度(2021年度)政策評価

(1) 前年度(2021年度)実施内容

暴風雨、洪水、地震等の異常な自然現象によって損害を受けた林業用施設(林道及び付帯施設)を復旧する。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
------	------

・2021年度は、国庫補助災害4路線(前年度繰越2箇所、前年度からの債務1箇所、前年度未契約分1箇所)及び単独災害151路線(269箇所)となった。
 ・2020年度からの繰越事業(国庫補助災害3路線3箇所)については、資材の高騰などにより相応の事業費や事務作業・人工等を要した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	林業施設災害復旧事業	—	—	—		652,800	650,000	0.4				
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						652,800	650,000	0.4				

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 林業施設災害復旧事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

暴風雨、洪水、地震等の異常な自然現象によって損害を受けた林業用施設(林道及び付帯施設)を復旧する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2006	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法、農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律 等

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

				⑥水・衛生		⑨イノベーション
		⑬気候変動	⑮陸上資源			
事業とゴールの関連性	異常な自然現象によって受けた被害を復旧することは、持続可能な森林経営等につながる。					

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	260,000	820,000	310,000	650,000		
	決算	312,483	305,247	386,719			
	国・県支出	125,255	34,060	118,106	422,304		
	市債	7,200	41,900	143,300	153,600		
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	180,028	229,287	125,313	74,096		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		2,100	2,100	2,100	2,800		
人工	正規	0.3	0.3	0.3	0.4		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		314,583	307,347	388,819	652,800		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
災害復旧工事の着工率(%)			目標	100	100	100	100	100	100
			実績	100	99	100			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)									
2022年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	02	05	02	001728000	01	林業振興課	小林 和重	2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- ①国庫補助 災害復旧事業【決算見込:196,889千円(うち前年度繰越:38,465千円)】
国庫補助により、林業用施設(林道及び付帯施設等)の災害復旧事業を行った。
- ②市単独 災害復旧事業【決算見込:285,216千円】
市単独事業として、林業用施設(林道及び付帯施設等)の災害復旧事業を行った。

5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・2021年度は、国庫補助災害4路線(前年度繰越2箇所、前年度からの債務1箇所、前年度未契約分1箇所)及び単独災害151路線(269箇所)となった。
- ・2020年度からの繰越事業(国庫補助災害3路線3箇所)については、資材の高騰などにより相応の事業費や事務作業・人工等を要した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・災害発生後、早期に対応したことにより発生した災害は可能な限り着工することができた。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・災害が発生した場合には、市民生活や林業経営の維持のため、早期着手・早期完了を目指していく。

7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- ①国庫補助 災害復旧事業
国庫補助により、林業用施設(林道及び付帯施設等)の災害復旧事業を行う。
- ②市単独 災害復旧事業
市単独事業として、林業用施設(林道及び付帯施設等)の災害復旧事業を行う。